

2023年6月30日

各位

株式会社三井住友銀行

山洋電気株式会社に「ESG/SDGs推進分析融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、山洋電気株式会社（代表取締役会長：山本 茂生）に対し、「ESG/SDGs推進分析融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs推進分析融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の山洋電気株式会社に対する評価結果は、「気候変動への対応」、「環境配慮型製品・サービスの開発や管理」、「顧客に対する誠実さ」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 気候変動への対応に向けて、「2030年度までにCO₂排出量を2017年度対比46%削減」「2050年度までにカーボンニュートラル達成」という中長期目標を設定しておられる点。
- ② 累計338機種に及ぶ環境適合設計製品「エコプロダクツ」を開発し、その製品の90%以上でLCAを実施しておられる点、さらに、全事業に対する「エコプロダクツ」の売上比率は55%を占めておられる点。
- ③ 事業部毎に、顧客の要望等を取り入れるための「CS会議」と内部品質向上のための「品質向上会議」を設定するなど、多様な側面から品質向上に向けた取り組みを行っておられる点。

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「目標12：つくる責任 つかう責任」「目標13：気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs推進分析融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



環境適合設計への取り組み

製品の設計においては、最新の省エネ技術を盛り込んで製品開発を進めています。また、製品アセスメントを実施し、製品が与える環境影響を、部品、材料調達、製造、流通、使用、リサイクル、廃棄などの各項目ごとに評価しています。開発した製品は、市場や既存の製品と比較し、一定の評価基準を達成しているか評価され「環境適合設計製品（エコプロダクツ）」として認定されます。2021年度は23件が、エコプロダクツとして認定され、累計338機種になりました。

今後も使用時のCO₂排出量の削減と、LCAを考慮した製品開発を推進します。



環境対策委員会

2000年4月に発足した、環境対策委員会は今年で23年になります。各拠点の省エネルギー、廃棄物削減などについては2004年度より、維持活動となりました。環境負荷の低減と合わせ、有害化学物質の削減、環境適合設計製品の開発を環境管理重点テーマとして取り組んでいます。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上